

駿博功労賞の募集

平成24(2012)年度より、駿博会では会の発足から発展期において貢献のあった方を表彰するため「駿博功労賞」を設け、会員の皆様から推薦のあった方から選考して毎年1名を表彰しております。

受賞者には駿博会総会において表彰し、賞状を授与します。

対象者は、原則として駿博会会員であり、駿博会への貢献が大きい方です。

総会の開催

毎年5月中旬に、日本大学理工学部駿河台校舎1号館にて、総会を開催しています。総会後に駿博奨励賞受賞者の研究内容報告会を行います。報告会後の懇親会では、参加者の皆さんと理工学部や駿博会について広く意見交換を行っています。



総会

駿博指導者賞の募集

駿博会では、学位（博士）取得者を数多く指導した教員に対して、その情熱と指導力に敬意を表し顕彰することを目的として、令和2(2020)年度より「駿博指導者賞」を設けました。候補者（自己推薦）は、駿博会ホームページに掲載してある応募書類に記入し、下記の応募期間内に関係書類を提出してください。受賞者は毎年若干名とし、受賞者には楯（クリスタルトロフィー）を駿博会総会において授与し、表彰します。

1. 対象者

駿博会会員であって、学位(博士)取得者を数多く指導した教員

2. 応募期間

毎年4月上旬から4月下旬

会員向けサービス

ご入会された方に駿博会ロゴマークをかたどったバッジを差し上げております。総会、博士後期課程学生交流会等には是非身に付けていただければ幸いです。



会報の記事募集

年2回発行している駿博会報では、会員の皆様がたがご執筆された記事を掲載することができます。掲載にあたっては、その内容が駿博会に相応しいものかを編集委員会で判断させていただき、若干編集させていただくことがあります。奮ってご応募いただければと思います。

また、駿博会報の「著書紹介」では会員の皆様が執筆された書籍を紹介しています。紹介して欲しい書籍がございましたら、「著書紹介」ページを参考に、著者、書籍名、出版社、出版年、紹介文（1000字程度）を裏面の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。なお、推薦多数の場合は順番に掲載させていただきます。紹介文の文面については若干編集させていただくことがあります。

過去の会報は会員専用ホームページから pdf 版として閲覧できます。会員専用ページには ID、パスワードが必要です。



日本大学理工学部 駿博会 Shunpakukai

2023年11月発行

駿博会(しゅんぱくかい)は、日本大学理工学部教職員および校友の中で博士号を有している方を会員とする専門家集団です。昭和57(1982)年に設立され、現在の会員数は約315名です。

駿博会では次のような活動を通して、日本大学理工学部の研究活動の進展、大学院生の育成、会員相互の親睦という目的を達成しようとしています。

- ・国内外の専門家を招いて最新の学術・技術に関する講演会を開催します。
- ・大学院博士後期課程の学生へ駿博奨励賞を授与します。
- ・博士論文審査の主査を多く担当された会員に駿博指導者賞を授与します。
- ・学術賞等表彰式において、学位取得者へ記念品を贈呈します。
- ・会員相互の情報交換、交流のため懇親会を開催します。
- ・会報を年に2回発行し、会員へ情報を発信します。
- ・駿博会ホームページ上で広く情報発信を行います。
- ・5年ごとに記念事業を行い、会員および進学希望者へ有益な情報を発信します。

ロゴマークの紹介

創立25周年に公募を経て決められました。理工学研究科の各専攻が集まって駿博会を構成し、開かれた団体であることをイメージしています。



駿博会会長挨拶

駿博会会長・日本大学理工学部長 轟 朝幸

駿博会は、昭和57年に「日本大学理工学部の研究活動の進展と大学院生の育成に寄与し、もって日本大学並びに広く国家社会の発展に貢献するとともに会員相互の親睦をはかること」を目的として発足しました。平成 19 年度の総会による会則変更を経て、「大学院生の育成に寄与」することをより重点として活動することとし、令和 4 年に 40 周年を迎えました。

駿博会の会員は、「本会の目的に賛同して入会した理工学部教職員（元教職員を含む）及び校友で博士号を有している者とする」とされ、約 315 名の学位を持つ学内外の会員によって組織されています。事業や会計の仕組みについては駿博会ホームページ※を参照いただきたいと思います。会員資格を持ち、まだ入会されていない方は裏面の入会案内をご参照下さい。

駿博会では、これまで継続して講演会の開催や大学院生の奨励、学位取得者への記念品の贈呈、会員の親睦などを実施しています。今後とも会員の協力のもとで活動展開をしてまいります。多くの皆様の声をお寄せいただければ幸いです。

※駿博会 HP : <http://www.shunpaku.cst.nihon-u.ac.jp/>

駿博奨励賞の募集

駿博会では大学院生の学術研究奨励のため「駿博奨励賞」を設け、大学院博士後期課程在籍の優秀な学生を表彰しております。

平成 20(2008)年度からは、新たに自己推薦に基づく選抜枠（いわゆる公募枠）1 名を設け、下記のような要領で毎年募集しています。希望者は所属する専攻主任の推薦を得て、応募期間内に関係書類を提出してください。

受賞者には、賞状および副賞を授与し、駿博会総会において表彰します。

1. 対象者

- (1) 日本大学大学院理工学研究科博士後期課程に在籍する者
- (2) 大学院における研究業績等を自己推薦できる者
- (3) 大学院博士後期課程在籍学生の模範となる者

2. 応募期間

毎年4月上旬から4月下旬

講演会のサポート

会員が企画した講演会に対し、駿博会から支援を行います。講演会のお知らせやポスターに「後援：日本大学理工学部駿博会」およびロゴマークを入れていただきますが、講師謝礼として1回5万円を上限にサポートします。

ご希望の場合は、依頼文と支払願（駿博会ホームページ参照）を作成し、お問い合わせ先にご提出ください。講演会終了後に報告書の提出（会報に掲載）をお願いしています。

駿博会入会の案内

会員の資格

- (1) 日本大学理工学部教職員（元教職員を含む）および校友で博士号を有している者
- (2) 本会の目的に賛同する者

入会申込書（下段のホームページから入手可能）をA4サイズに印刷し、必要事項を記入のうえ、捺印し、下記のお問い合わせ先へ郵送または電子メールでお届けください。ご入会いただきますと各種ご案内を掲載した「駿博会報」が年2冊お手元に届きます。

駿博会 HP : <http://www.shunpaku.cst.nihon-u.ac.jp/>
会員専用ページには ID、パスワードが必要です。

会費納入先 会費 3,000 円/年

・複数年一括支払いもお受けします

振込先 銀行口座 りそな銀行 神田支店 普通 1384042
口座名義 ニホンダイガクリコウガクブシュンパクカイ
氏名・〇〇年度分会費 を振込時にご記載ください。

お問い合わせ先

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

日本大学理工学部 駿博会

TEL : 047-469-5391（総務委員：吉川 浩）

FAX : 03-3259-0410（総務委員：宇於崎 勝也）

E-mail : cst.shunpaku@nihon-u.ac.jp

博士後期課程学生交流会の開催

平成 23(2011)年度より博士後期課程在籍大学院生の交流会を開催しております。各専門分野の博士後期課程の大学院生が集まり、研究や日常のことについて、意見交換を行うことができます。会員の皆様も是非ご参加ください。



40 周年記念講演会

駿博会は、これまで5年ごとの節目に大きな講演会を行ってきました。15 周年「博士後期課程で学ぶことの意義」、20 周年「21 世紀を拓く日本大学理工学部の叡智」、25 周年「理工学の未来」、30 周年「理工学の拡がり」、35 周年「理工学と社会のつながりー近年の話題を巡ってー」をテーマとして開催しました。

令和 5(2023)年には創立 40 周年を記念して、「多様化の時代における理工学の役割」のテーマのもとで、春には日本大学常務理事の渡辺美代子様の講演会を、秋には3名の先生による講演会を開催しました。

春＜演題＞ (敬称略)

「ダイバーシティによる理工学の発展」

理学博士 渡辺 美代子（日本大学常務理事/日本学術会議第24期副会長）

秋＜演題＞ (敬称略)

「アートとイノベーション」

芸術学部教授・博士(芸術学) 川上 央

「自動運転と民事責任」

危機管理学部教授・博士(法学) 福田 弥夫

「人口減少時代の学際研究：理工学への期待」

経済学部教授・経済学博士 中川 雅之